

本田宗一郎物語 第三話(創業期編)

演目のご紹介

第一話は幼少期から生涯の夢を、第二話は丁稚奉公時代から青年期の起業時代を、第三話は自転車にエンジンを付けたバタバタからスーパーカブ誕生までの大きな夢を宝井琴鶴の講談で聴いていただく企画しました。

今から75年前、やっとの思いでピストンリングを生産した東海精機を空襲で焼かれ終戦を迎えた。

宗一郎は工場を売り、茫然と焼け野ヶ原を眺めていた。すると重い荷を積んで買い出しから帰る「さち夫人」の乗る自転車に目が止まった。

自転車に旧陸軍が残した無線機用小型エンジンを付けたら楽になるだろうと試してみた。

物のない時代、このアイデアは大評判になった。

やがて藤澤武夫というパートナーを得ると、オートバイ生産を始め、やがてオートバイレース最高峰マン島のTTレースに出て優勝し世界中を驚かせ、スーパーカブは今でも世界中のどんな道でも走っている。夢は更に膨らんでいった。

会場 ライブステーション狭山のご案内

西武新宿線「狭山市駅」下車 西口コンコースのエスカレータをおりて、スカイテラス地下

お申込みは下記にご記入の上FAXをお願いします。

TEL/FAX 04-2953-5704

狭山市の活性化をめざす市民連合会 吉岡

司会 アンディにと安藤倫子 狭山市在住 アマチュアながらプロ級の腹話術で近隣からも引っ張りだこ。

語り 森川卯月作「陰かくし地藏さま」は入間川に伝わる民話で木曾義仲嫡男清水冠者源義高の悲話を横山美衣の解説で「ななこ会」北川洋子が語る。宝井琴鶴も中央公民館で義高悲話の講談を読む。

三方ヶ原戦記 本田宗一郎の手記に時々登場する「みかたつばらの戦い」は浜松で起こった信玄対信長・家康の戦い。小さいときから信長も家康もボロボロに負けても天下をとった話はよく聞かされていたようだ。三方ヶ原戦記を得意とする神田伊織が読む。

講談「本田宗一郎物語」は宗一郎と親交のあった五代目宝井馬琴によるオリジナルがあり、六代目宝井馬琴も全国で読む。今回の講談はリニューアルされた宝井琴鶴オリジナルである。



ご氏名	ご住所	TEL